

学校施設における非構造部材の耐震化推進について

1. 背景

『非構造部材』とは、柱、梁、壁、床等の構造設計の主な対象となる部材以外の天井材、内・外装材、照明器具、設備機器、窓ガラス、家具等のことです。

建物の構造体の耐震化が進められている一方、近年の大規模な地震では、天井材の落下等、いわゆる「非構造部材」の被害が発生しています。

非構造部材の被害は、人的被害だけではなく、地域住民の応急避難場所としての機能を損なう可能性もあるため、非構造部材の耐震対策を行うことは重要です。

特に、致命的な事故が起こりやすい屋内運動場の天井材、照明器具、外壁（外壁材）、バスケットゴールの落下防止対策を進める必要があります。

なお、平成 25 年 8 月 21 日付で文部科学省より、屋内運動場、武道場、講堂及び屋内プール（器具倉庫や更衣室等は含まない）における大規模な空間の天井等の非構造部材の「耐震対策」を平成 27 年度末までに完了させるよう通知されています。それ以外の非構造部材については、速やかに「耐震点検」を行い、耐震対策が必要な場合実施することとなっています。

2. 国立市立小中学校の構造体耐震化推進状況

既にホームページ等でお知らせしていますが、構造体の耐震補強工事につきましては、平成 22 年度までに完了しております。

3. 国立市立小中学校の非構造部材耐震化推進状況

(1) 屋内運動場

下記のとおり平成 26、27 年度で非構造部材の耐震化対策工事を実施いたしました。

主な非構造部材耐震化対策工事の内容は以下のとおりです。

- ・吊り天井の撤去
- ・高天井照明の耐震化改修
- ・吊下げ式バスケットゴールの耐震化改修
- ・上記に付帯する工事一式

ただし、平成 27 年度に工事を実施した中学校 2 校（ ）については、既に「吊り天井の撤去」、「高天井照明の耐震化改修」が完了していることから、「吊下げ式バスケットゴールの耐震化改修」のみ行いました。

平成 26 年度工事实施：小中学校 4 校

国立第三小学校

国立第四小学校

国立第八小学校

国立第三中学校

小学校 計 3 校

中学校 計 1 校

平成 27 年度工事实施：小中学校 7 校

国立第一小学校

国立第二小学校

国立第五小学校

国立第六小学校

国立第七小学校	小学校 計 5 校
国立第一中学校	
国立第二中学校	中学校 計 2 校

(2) 校舎棟

平成 25 年度に小中学校 11 校すべての非構造部材の「耐震点検」が完了しております。
各校の点検結果について下記にまとめます。

国立市立小中学校校舎非構造部材の「耐震点検」

参考文献：「地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために」 文部科学省

また、上記の結果を受けて平成 27 年度から校舎の非構造部材耐震化対策工事を順次行っております。
主な非構造部材耐震化対策工事の内容は以下のとおりです。

- ・外壁の剥落落下防止工事
- ・建具の破損落下防止工事
- ・吊り天井対策工事
- ・吊り照明器具の改修工事
- ・上記に付帯する工事一式

平成 27 年度工事実施：中学校 1 校
国立第一中学校 外壁剥落落下防止工事のみ

平成 28、29 年度工事実施：小学校 1 校、中学校 1 校
国立第七小学校、国立第三中学校

平成 30、令和元年度工事実施：小学校 1 校
国立第六小学校

令和 3、4 年度工事実施：小学校 1 校
国立第四小学校

令和 5、6 年度工事実施予定：小学校 1 校
国立第八小学校

令和 6、7 年度工事実施予定：小学校 1 校
国立第五小学校